

1 幼稚園の教育方針

1. 心も身体も健康で、優しく思いやりのある子に育てる。
2. 人とのかかわりを持つ力を育成し、両親や周りの人達に感謝する心を育てる。
3. 一人一人の発達の特性に応じ、明るく、伸び伸びとした園生活を営み、遊びを通して総合的な指導を行う。
4. 日常生活に必要な言葉がわかり、自分の気持ちを言葉で表現し伝え合う喜びを味わう。
5. 豊かな感性を育て、感じたこと、考えたことを心や身体で表現する喜びを味わう。

2 教育目標

みんな仲良く元気な子
 我慢強く最後までやり遂げる子
 優しく思いやりのある子
 決まりを守る子

3 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）・

30 年度改定の幼稚園教育要領に基づいた保育内容（指導計画）の見直しを行う。
 園内研修研究に努め、自己向上の為の学び合える環境を整える。

4 評価項目の達成及び取組状況・・・教職員の自己評価点数をもとに判定

評価項目	教員自己評価		園長判定	理由
	平均	判定		
① 保育の計画性	2.8	B	B	子どもの実態を把握し、園の特色を生かした年間計画。行事、保育内容の見直しを実行に移す事が出来なかった
② 保育のあり方 幼児への対応	3.5	A	A	安全性に留意し、子ども達 1 人 1 人の個性を良い方向へ援助、対応する事が出来た。
③ 教師としての資 質、能力、適正等	3.5	A	A	教師としての自覚を持ち、規律ある行動・品位ある言葉遣いを意識した。また自己向上の為、意識的保育の能力を身につける努力を心がけた。
④保護者への対応	3.6	A	A	保護者の立場になって接し、どんな些細な事でも、不安や誤解を招かないよう対応した。
⑤地域の自然や地 域との関わり	2.1	C	C	花育・食育を行い、植物に興味を持てた。奉仕作業、富士市のお祭り参加で地域との交流を図る努力はしたが、老人福祉施設への訪問が1回のみだったので、園行事等で近隣の方々に参加を促す環境作りをすべきであった。
⑥研修と研究	2.4	C	C	日々の保育に追われ、園内研修研究を積極的に行えなかった。年度始めに課題を決めて実践しなければならない。教師間で学び合える場を設けたい。

※結果の表示方法

- A・・・概ね達成されている・・・・・・・・・・3.34～4.00
- B・・・ある程度達成しているが、改善余地あり・・・2.67～3.33
- C・・・取り組みされているが成果が十分でない・・・2.01～2.66
- D・・・取り組みが不十分である・・・・・・・・・・2.00 以下

5 本年度の重点課題の総合的な評価結果

全体的に年度始めに行うべき年間計画の具体性に多少曖昧な部分があり、その結果、諸々の項目において目標を具現化する事が出来なかったという結果に繋がった。
日々繁忙な状況の中で、教師間での意志の疎通が希薄となってしまい、運営が大まかで悪循環となっていたように思う。
今後の計画づくりを積極的なディスカッションのもとに、行っていくべきであると考えます。

6 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の計画性に伴う保育のあり方及び園児への対応	年度初めの打ち合わせで具体性を伴った計画を頻度高く行う。 既成概念にとらわれない考えで建設的な取り組みをする。
教師の能力向上	保育実践の場で培われる経験からくる能力向上も大切だが研修等に積極的に参加する事で得られる知見を拓げる事も必要と思う。 よってこの機会を作るよう計画を立て、それを実現する。
地域社会との連携	年間計画を具体的に作り、近隣小学校及び老人施設等との交流の機会を増やす為の様々なアイデアを出し、実現出来る方策を立てる。

自己点検(教職員編) 総合分析表

富士光明

幼稚園 教職員全体での集計

※個人名の記載は控えさせていただきます

氏名		項目ごとの平均ポイントを以下に記入						点数合計
		I 保育の計画性	II 保育の在り方・幼児への対応	III 保育者としての能力や良識・適正	IV 保護者への対応	V 地域の自然や社会との関わり	VI 研修と研究	
		2.51	3.23	3.28	3.37	1.66	1.76	15.81
		2.90	3.60	3.60	3.30	2.10	2.10	17.60
		3.51	3.80	3.91	3.92	2.11	3.16	20.41
		2.50	3.50	3.50	3.80	2.20	2.50	18.00
		3.30	3.70	3.80	3.90	2.30	2.70	19.70
		2.50	3.00	3.10	3.50	2.00	2.40	16.50
6人	各項目の平均ポイント	2.87	3.47	3.53	3.63	2.06	2.44	108.02

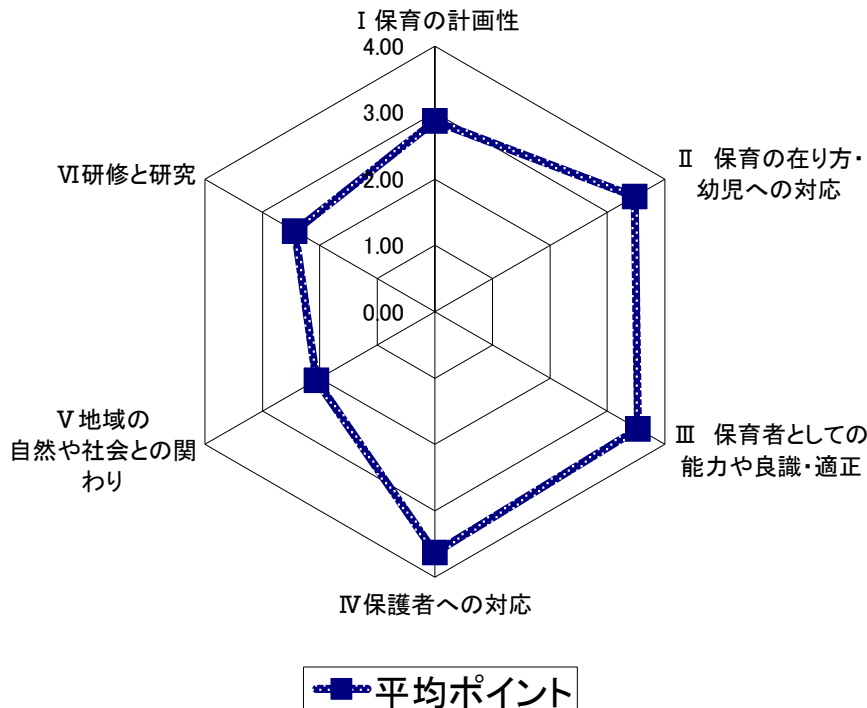
今回の点数合計

108.02

144.00

満点の場合

自己点検 総合分析表 (幼稚園の教職員全体)



100点満点
換算で

75.01

1 幼稚園の教育方針

1. 心も身体も健康で、優しく思いやりのある子に育てる。
2. 人とのかかわりを持つ力を育成し、両親や周りの人達に感謝する心を育てる。
3. 一人一人の発達の特性に応じ、明るく、伸び伸びとした園生活を営み、遊びを通して総合的な指導を行う。
4. 日常生活に必要な言葉がわかり、自分の気持ちを言葉で表現し伝え合う喜びを味わう。
5. 豊かな感性を育て、感じたこと、考えたことを心や身体で表現する喜びを味わう。

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）・

- 30 年度改定の幼稚園教育要領に基づいた保育内容（指導計画）の見直しを行う。
園内研修研究に努め、自己向上の為の学び合える環境を整える。

3 評価項目の達成及び取組状況

学校評価委員 7 名による評価を集計しました。（点数化できたのは 6 名）

評価委員の判定を A=4 点 B=3 点 C=2 点 D=1 点に置き換えて集計。

評価項目	教員自己 評価素点	園長 判定	理 由	関係者評価 集計結果	関係者評 判定	平均
① 保育の計画性	2.87	B	子どもの実態を把握し、園の特色を生かした年間計画。行事、保育内容の見直しを実行に移す事が出来なかった。	21	A	3.50
② 保育のあり方 幼児への対応	3.47	A	安全性に留意し、子ども達 1 人 1 人の個性を良い方向へ援助、対応する事が出来た。	24	A	4.00
③ 教師としての 資質、能力、適 正等	3.53	A	教師としての自覚を持ち、規律ある行動・品位ある言葉遣いを意識した。また自己向上の為意識的保育の能力を身につける努力を心がけた。	24	A	4.00
④ 保護者への対応	3.63	A	保護者の立場になって接し、どんな些細な事でも、不安や誤解を招かないよう対応した。	24	A	4.00
⑤ 地域の自然や地 域との関わり	2.06	C	花育・食育を行い、植物に興味を持てた。奉仕作業、富士市のお祭り参加で地域との交流を図る努力はしたが、老人福祉施設への訪問が 1 回のみだったので、園行事等で近隣の方々に参加を促す環境作りをすべきであった。	17	B	2.83
⑥ 研修と研究	2.44	C	日々の保育に追われ、園内研修研究を積極的に行えなかった。 年度始めに課題を決めて実践しなければならない。教師間で学び合える場を設けたい。	13	C	2.17

※結果の判定の目安

- A・・・概ね達成されている・・・・・・・・・・3.34～4.00
 B・・・ある程度達成しているが、改善余地あり・・・2.67～3.33
 C・・・取り組みされているが成果が十分でない・・・2.01～2.66
 D・・・取り組みが不十分である・・・・・・・・・・2.00 以下

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

全体的に年度始めに行うべき年間計画の具体性に多少曖昧な部分があり、その結果、諸々の項目において目標を具現化する事が出来なかったという結果に繋がった。

日々繁忙な状況の中で、教師間での意志の疎通が希薄となってしまう、運営が大まかで悪循環となっていたように思う。今後の計画づくりを積極的なディスカッションのもとに、行っていくべきであると考えます。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の計画性に伴う保育のあり方及び園児への対応	年度初めの打ち合わせで具体性を伴った計画を頻度高く行う。 既存概念にとらわれない考えで建設的な取り組みをする。
教師の能力向上	保育実践の場で培われる経験からくる能力向上も大切だが研修等に積極的に参加する事で得られる知見を拡げる事も必要と思う。 よってこの機会を作るよう計画を立て、それを実現する。
地域社会との連携	年間計画を具体的に作り、近隣小学校及び老人施設等との交流の機会を増やす為の様々なアイデアを出し、実現出来る方策を立てる。

6 学校評価委員より コメント、総評など

学校関係者評価 評価委員

- ・PTA 会長
- ・元PTA 会長 英会話学校経営
- ・幼児活動研究会講師
- ・市内特別養護老人ホーム施設長
- ・学研幼児教室 代表指導者
- ・元PTA 会長 PTA 会計監査
- ・厚原南区 区長

達成評価

- ・保育だけではなく、毎日園をきれいにしている先生方の姿は、素晴らしい。
- ・クラス便りにより各クラスの様子がわかり、保護者の評価も良い。毎月大変だと思うけれど続けてほしい。
- ・ベテランの先生ばかりなので、保育のあり方や幼児への対応、教師としての資質や能力も備わっているので、安心して子ども達を預けられる。
- ・保育の力がある。
- ・先生方が明るく、保護者に対しても丁寧で、外での評判も良い。
- ・三歳児、年少の挨拶が素晴らしい。三歳児のクラスの前を通ると子ども達から話しかけてくれ、年少も声をかけてくれる。
- ・自ら進んで挨拶が出来る子達が保育を通じて育っていると感じ、園に来られた方に子ども達から挨拶できるのが当たり前になると、園内はさらに明るくなり、来園した方も嬉しい気持ちになる。
- ・花育で子ども達が教わったことをすぐに実践している姿があった。その姿がほほえましく、いい活動になっていると感じた。
- ・昨年に比べ、評価が上がっていることは良い。当老人介護施設でも入居者一人一人の生活のあり方、好みを見出して、今までの暮らしが入居しても継続でき、安心して暮らせるように日々の介護の中で、職員には工夫をする努力をしてもらっている。子どもを育てるという意味では、大変な仕事なのだろうと想像できる。
- ・防犯対策をしなければならない中で、地域との関わりを持つことは大変な苦勞だと思うけれど、ヴィラージュ富士への毎年の慰問を感謝している。利用者もかわいい子ども達と会話できることが楽しみになっている。今後も続けてほしい。
- ・お母さんと先生がお話している姿が多く見受けられた。おうちの方とのコミュニケーションがよくとれている様に思う。
- ・表現発表会で、子ども達の演技も然る事ながら、職員のボディーパーカッションもよかった。園児たちへの指導の傍ら練習するのは大変だったろうけれど一生懸命さが伝わった。
- ・自身を厳しく採点していると思い、1ランク上の評価にした。

要努力評価

- ・地域との交流は難しそう。手紙や折り紙・ポスター等を届けたりするのもよいのではないかな。
- ・食育について、親子で一緒に食べる時間が少なくなっているという時代なので、参観で親子で食べるのもいいのでは。
- ・花育や食育は、PTAでも協力できれば・・・
- ・30年度改定の幼稚園教育要領に基づいた保育内容の見直しをどのような見直し、指導計画を立てたのか知りたい。見直しをした保育内容を実行に移す事ができれば、保育の計画性の評価もA判定になり、より良い保育に結び付くので有言実行出来たら素晴らしい。
- ・地域の方たちとの交流が少ない。園行事の時に近隣小学校や老人施設などと交流できるようにしたい。(昨年話に出た昔遊びは?)
- ・園内研修なども年度初めにしっかり計画を立てないとなかなか実践できないと思う。(公開保育はできた?)
- ・幼少連携は引き続き必要。そのうえで32年より開始される小学校新学習指導要領では生きる力をタイトルとし、様々な改定が行われている。先に行われているよう幼稚園の新学習指導要領と保育の関連性を高め、教育の質を高めていくことが必要。限られた時間の中で優先順位を決め、豊かで実りある教育が出来るといい。
- ・園外保育や、農家の方々の講話・見学の機会を持ち、自然を知り、食育を学ぶことに触れられたら。
- ・規定の保育にとらわれず新しい想像をもってチャレンジしてほしい。